



## 応急給水訓練に参加！ 4年生

20日(木)午後から、熊本市上下水道局主催の「自然災害における大規模断水が発生した場合の応急給水訓練」に4年生が参加しました。「貯水機能付給水管」(「銀玉」とも言うらしいです。正門付近の大きなサッカーボールのようなタンクです。)は、どこの県にもあるわけではないそうです。そこで、他県の上下水道局の方々も来られての訓練となりました。

「銀玉」は、校舎の水道と連動していて、常にきれいな水が循環しています。ですから、有事の際はその水を飲料水にも活用できます。先週、若葉校区の熊本地震の様子を詳しく学んだ4年生ですから、興味津々で訓練に取り組んでいました。また、「給水車の水はどこからくるのか?」「他県に運ぶこともあるのか?」「船での移動はあるのか?」「給水袋は買うことはできるのか?」等、たくさんの質問もしていました。

地域の方々も一緒に参観していただき、防災についての学びを一緒にできたことも子どもたちにとって強く印象に残る学習となったと思います。このような機会をいただいた色々な関係機関の方々に感謝いたします。



## 富田宇宙さん講演会の感想より

先週の講演会后、子どもたちは教室に戻って、感想を記入しました。自分のことと重ねながら、色々なことを感じていたのだなと改めて思いました。少しだけ紹介したいと思います。

- (3年)自分の障害を受け入れて、進めたのがすごいと思いました。僕も富田さんみたいに、好きなことを頑張ってみたいです。
- (4年)富田さんは目がだんだん見えなくなってしまう病気だったけどあきらめないでポジティブに取り組んで、いろんな部活動やパラリンピックに取り組んでいる富田さんがとても素晴らしいと思いました。わたしも富田さんのようなすごい人になりたいし、全集中でいろんなことに取り組んでいきたいです。
- (5年)障害があることを悪いことと思うのではなくて障害があるから東京パラリンピックに出られたんだと思うポジティブな思いがすごいと思いました。苦しくて辛い障害があるのに自分でできることを見つけて自分が好きなことをやるということがすごくて、自分も笑顔を大切にしておのれができない自分の良さを見つけて生きていきたいと思いました。
- (6年)自分の障害を強みと言ってポジティブに捉えているのがとてもいいと思ったのでこれからは自分のあまり得意なことではないことも自分の強みとして捉えていこうと思いました。私もし目が見えないとなったら落ち込んでこれからどうしようなどと思うと思います。でも宇宙さんはそれを強みとして生きていくのがとてもかっこいい生き方だと思いました。私も全力ハッピーマンになれるように頑張ろうと思いました。